



栗橋歴史同好会は、歴史を気軽に楽しむ会... 連絡先 栗橋歴史同好会 田中 忠 090-5200-0303

郷土の歴史を共に学びませんか

栗橋歴史同好会は、歴史を気軽に楽しむ会... 江戸時代、宿場町として栄えた栗橋には、歴史遺産や伝承が数多く残されています。



39(サンキュー)バドミントンクラブは、部員13名で月2回3回鷺宮体育センターなどでバドミントンを楽しんでいるシニアクラブです。

私たち「39(サンキュー)バドミントンクラブ」は、部員13名で月2回3回鷺宮体育センターなどでバドミントンを楽しんでいるシニアクラブです。バドミントンは、見た目は簡単で楽なように見えますが、いざプレーをしてみると中々ハードであることがわかります。

久喜市生涯学習だより

まなびすと久喜

平成30年8月1日 発行

第16号

編集：久喜市生涯学習推進部 発行：久喜市教育委員会



久喜市生涯学習推進会議 議長 平 忠 昭

「誇りと生きがい」を持っている生涯学習を目指して

生涯学習は、子どもから高齢者までのすべての人が学ぶ生涯の学習です。それは、学校教育、社会教育などの教育活動、自己学習活動、知識・技術などを習得するための学習や日常生活での学習などの総合的な学習活動を言っています。

久喜市総合振興計画・後期基本計画(2018年度)では、生涯学習の推進について、「社会の成熟化や国際化、情報化、高齢化等が進展したことに伴い、心の豊かさや生きがいなどを求めて、人々のニーズは増大するなど、生涯学習に関する関心は高まりを見せている。」とされ、これを受け久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン)では、久喜市の生涯学習は、子どもから高齢者までの「すべての市民」の「生涯にわたる学習」とされ、市民一人一人が自らの意思に基づき、「生きがい」のある充実した人生や「心の豊かさ」を求め、自ら進んで行う具体的な学習活動とされています。

久喜市の生涯学習活動推進のキーワードは、「まなぶ」「いかす」「つなぐ」「ささえあう」です。さまざまな学びを提供し、学んだことを生かせる場を整備し、学びでつなぐネットワークを推進し、学びを支える体制を作ることこの四つのキーワードで表しています。

久喜市の生涯学習活動をさらに推進するために不可欠な要件は、「学びの場」の早急な整備です。現在、生涯学習推進大会や研修大会の大きな行事は、栗橋地区、鷺宮地区、菖蒲地区、久喜地区の文化会館や県立高等学校の多人数を収容できる施設を借用して実施しています。今般、東京理科大学久喜キャンパスの撤退により、施設の一部が「生涯学習センター」として開設される計画です。市民の生涯学習が益々盛んになり、多くの市民が誇りと生きがいを持ち、豊かな生活を送れるように努力してまいります。

久喜市生涯学習施設紹介

- ★所在地 久喜市間鎌 255-1
★電話 0480(52)8787
★アクセス JR宇都宮線・東武日光線栗橋駅 から徒歩20分
★利用時間 10:00~20:00
★施設概要 トレーニングルーム 1回200円 中学生以上
・幼児室 無料 3歳以下(保護者同伴)
・児童遊戯室 無料 3~10歳まで(保護者同伴)
・大広間 1時間200円 福祉・健康増進目的の利用に限る
★休館日 毎週水曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始(12月28日~1月4日)



「くりむ」の愛称で親しまれている久喜市健康福祉センターは、平成9年12月に高齢者の健康づくりや生きがいづくり、幼児・児童の健全で豊かな情操の育成の場を提供することを目的に、栗橋地区に開設された施設です。健康づくり・健康維持のためのトレーニングルーム(有料)及び幼児や児童のための幼児室や児童遊戯室等の開放、福祉や健康増進を目的とする会合等の開催のための大広間の貸し出し(有料)を行っています。



- ★所在地 久喜市吉羽1丁目40番地14
★電話 0480(21)8181
★アクセス JR宇都宮線・東武伊勢崎線久喜駅東口 から徒歩18分
★利用時間 9:00~17:00 (4月から9月までは18:00まで)
★施設概要 遊戯室、幼児室、集会室、図書室、工作室
★休館日 月曜日、第2・第4火曜日、月末(土曜日・日曜日の場合は開館)、祝日(こどもの日を除く)、年末年始(12月28日~1月4日まで)

児童センターは0歳児から18歳未満の子どもたちが、主体的な活動や遊び、センターで計画する行事への参加を通して心身の健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした施設です。楽しみながら体を動かせる遊戯室、就学前の子どもが保護者と安心して遊べる幼児室、卓球もできる集会室、いろいろな本がある図書室などで、いつでも、誰でも、自由に遊ぶことができます。また、年間を通して季節に応じたさまざまな行事も実施しています。

ふるさとの市民まつり

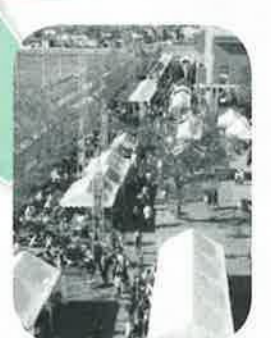
久喜市には、年間を通じて市民と市民がふれあい、笑顔になれる催しがたくさんあります。その中で、秋も深まる時期に市民による手作りのまつりが各地区で開催されます。秋空の下、お出掛けになってはいかがでしょうか。



わしのみやコスモスフェスタ (10月27日~28日開催)



栗橋やさしさ・ときめき祭り 赤花そば祭り (11月18日開催)



久喜市民まつり (10月21日開催)



久喜市菖蒲産業祭 (11月3日開催)

※開催日は平成30年の日程です(引用元:久喜市ホームページ)

今年のテーマ

支え合う(学校・家庭・地域) — 『共助』の実践 —

第9回久喜市生涯学習研修大会「まなびすとフォーラム」が、今年は227名の多くの方々に参加され、盛大に開催されました。開会行事では、平忠昭生涯学習推進会議議長の挨拶に続き、久喜市議会議長代理新井兼様をはじめご来賓の方々に挨拶をいただきました。その後、梅田修一市長には分科会会場にて挨拶をいただきました。分科会は、高校生からシニア世代まで、学校教育・社会教育・PTA各関係者、地域活動に携わっているの方々など10名前後のグループで構成されており、22分科会で意見交換が行われました。



テーマの説明



自分の考えを書く



意見交換をする

～あなたにできることは何でしょうか? 共に支え合い・助け合いながら行えることとは何でしょうか?～

“自助・共助・公助”という言葉をご存知ですか。

『自助』とは、住民一人一人が豊かな生活を送るために努力することです。『共助』とは、市民が豊かな地域づくりに協力・協働することです。『公助』とは、法律や制度に基づき、行政機関などが提供するサービスなどをいいます。

安心・安全で豊かな生活を送るには、学校・家庭・地域が共に支え合い・助け合い、お互いを気づかい合うことが大切なのではないでしょうか。分科会ではテーマに沿った話し合いの視点を立て、熱心な意見交換が繰り返されました。

<分科会からワークショップ方式>

- 現在行っている『共助』
 - ☆登下校の見守り ☆PTA活動 ☆学校への協力 ☆自治会活動
 - ☆学校応援団活動 ☆ゆうゆうプラザ活動 ☆イベントやまつり等のボランティア活動 ☆介護の世話…等

- 課題
 - ☆子ども達の安心・安全の確保
 - ☆地域のつながりの希薄化
 - ☆学校側からの情報提供や場の提供
 - ☆PTA活動…等

- 私達にできること
 - ☆空き教室利用で地域の方々の交流の場、憩いの場をつくる。
 - ☆地域へ学校行事の発信と行事に地域を巻き込んでいく。
 - ☆挨拶と声かけでコミュニケーションを図る。
 - ☆高齢者の特技を生かし、子ども達や若者世代との交流を図る。
 - ☆自分にできるボランティア活動に参加する。
 - ☆自治会活動や地域活動に積極的に参加する。
 - ☆高齢者、障がい者、子育て世代を温かく見守り、必要な支援を行うと共に隣近所の交流を深める。
 - ☆リタイア後、今までの経験を伝える場を作り活動する。…等



共通事項を分類する



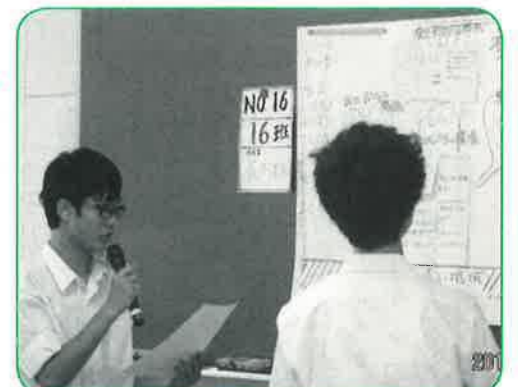
<フォーラムに参加して一参加者の声>

- ☆日々暮らしの中で共助なしでは暮らせないと思う。共に助け、助けられ生活しているのだと思う。
- ☆自分の身近のちょっとした優しさや気配りから広がっていくものだと思う。一人一人が助け合う意識があればいい地域になる。
- ☆近隣のゴミ拾いのような小さなことから実践していくことで支え合い・助け合いの輪が広がっていくと思う。
- ☆近所の方へ挨拶することで関わりが生まれる。挨拶で相手の状況や様子もわかり、気持ちに寄り添うことができる。…等

<まとめ>

少子高齢化社会・予測できない自然災害・子どもを取り巻く事件など看過することができない社会情勢の中、3つの”助“をそれぞれの家庭や地域の”で“お互いに理解し、実践していくことが大切です。今回の話し合いをきっかけに自分でできることから、お互い様“WIN WIN”の気持ちで共に支え合い・助け合う地域社会の実現を市民一人一人の力で築き上げ、安心・安全で豊かな地域社会を創り上げてまいりましょう。なお、「まなびすとフォーラム」報告は、久喜市ホームページで紹介をしています。

問合せ 生涯学習課生涯学習係 (22) 5555 内線 362



発表する 高校生が大活躍



表題や小見出しを決める



分科会ごとのまとめ

